

# 平成31年度次長枠予算について

全市共通目標である「子どもが安心して成長できる安全な社会の実現」と「心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上」の2点について、各校がどのような取組を行い、教育委員会・区がどのような支援を行い、地域とどのような連携をとっているか、が問われることとなります。

全市共通目標に向かい、学校、区役所と地域が一丸となって取り組みを行うことが求められています。

平成31年度次長枠予算についても、学校が取り組んでいる課題についてお伺いし、その支援を行えるようなものにしたいと考えています。

## ご参考までに……

平成30年度に次長枠で行う事業については、

①に～よん個別復習塾、②英語教育、③プログラミング教育・理数教育となっております。

①に～よん個別復習塾については、現在中学生のみを対象としておりますが、「学校施設で行いたい」や、「小学生も受講できるようにしてほしい」などのお声もお伺いしております。

②英語教育については、先生方からのご要望を受け、イングリッシュツアーを企画しました。区全体では70名の応募となり、定員に届きませんでした。来年度、継続すれば定員には達すると考えております。

③プログラミング教育・理数教育については、プログラミング教育が平成32年度から指導要領に入ってくる中、物品などの支援を区で行うという面では一つの役割を終えると考えております。現在行っている研究会などを通し、「人」への支援を継続していきたいと思っております。

各校よりご提出いただきました「校長経営戦略予算を使って取り組む課題」について、中学校ブロック単位で整理を行い、共通の課題があるようであれば、次長枠を使って支援を行い、より高い成果を出したいと考えております。

インクルージブ教育サポーター制度を区で構築し、「人」に対する予算支援を行っている中、次長枠予算については「事業」に対する予算支援を行いたいと考えております。

各校の課題に対し、中学校ブロックで共通の取組を行うとすれば、どのような取組が考えられるか、ご意見をお聞かせください。